







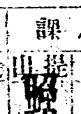


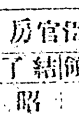



9211

第一三三號 行後 頁 (裁)		執行指定 	決裁指定 	保存期限
局長(部)	局長(部)	大臣 參謀		受領番號 支隊第三三五號
	參謀本部 經理局長	政務次官 		上海占領地域内稻荷取ニ關スル件 起元應(課名) 上海派遣軍
		參與官 		
課長	課長	主務局長 	高級副官 	
	軍事課 主計課 衣糧課	主務副官 	書記官 	
		主務課員 		
		大官房 	主務局長 	
		受領 昭和 年 月 日	受領 昭和 年 月 日	番號 支隊第三三五號

政務官 書記官 回付(執行前)

(執行後)

密案  
筆記者 (神)

陸軍

次官ヨリ上海派遣軍參謀長宛電報案(暗)

(陸支密)

上海占領地域内稻蒭取ノ為メ特ニ人夫ヲ派遣スルノ件

ハ左記理由ニヨリ見合ハスヘキニ就テ承知アリ度

左記

一農繁期ヲ控テ人夫ノ募集困難ナルノミナラス今ヨリ

着手スルモ一ヶ月後ニアラサレハ上海ニ到着シ得ス

既ニ時機ヲ失セルコト

陸軍

二、人夫ノ給與所要器具ノ整備・輸送費、賠償等

ヲ考慮スル時ハ收支償ハサル虞アルコト一

三、募集可能豫想人夫數ヨリ見テ人糧一ヶ月

分ヲ得ルニ過マサルコト

尚現地一般物資利用為特要スル人員派遣ニ就テ別ニ研究スルモ差當リ  
現地勞働力ノ不足ハ收容者(俘虜)

土民等ヲ使用スルノ外適當ノ方法ヲ講シ

テ補ハレ度

現地物資利用ノ計可ハ度補此ノ際特ニ

62TT

國際的問題ヲ惹起セサルコトニ注意アリ度

陸軍省 陸支密電 五四五

昭和拾貳年拾月廿日



1180

左記ヲ附  
又本件以外  
持ニ要スル  
別ニ考慮

1180

左記ヲ附加セシ度（經理局）

左記

又本件以外ニ現地資源利用ノ為  
特ニ要スル人員ノ派遣ニ就テハ  
別ニ考慮ス



文密 三三三三 辨其一



電報譯

10月18日 午前 午後

四時 五分 著

陸軍次官 宛 發信者 上海派遣軍參謀長

第 / 號

稻刈取ノ為上申セル人夫ノ派遣ハ遅延セ、時機  
ヲ失スルヲ以テ少クモ軍補充用トシテ藁、綿  
其他農作物、及古材等有利處理スル為朝  
鮮人、台灣人少クモ一千名ニ技術者若干ヲ附  
シ農具(刈取機、稻板機、鎌繩等)大工道具  
及起居用具(炊具、寢具、アンバラ)ヲ携行至



急派遣方取計ハレ度収獲セル叔ノ處理ニ  
関シテハ更ニ研究ス



陸軍省 陸支密受第三三三五號



上軍経第大五號

台領地域内ニ於ケル水稻蒐集不計画ノ件

昭和三年十月十日 上海派遣軍參謀長

陸軍次官殿

台領地域内ニ於ケル水稻ハ今ヤ收獲期ニ在ルモ

住民遁逃シアリテ徒ニ腐朽セントス軍ハ直接之

ヲ軍糧ニ充當スル目的ヲ以テ物資蒐集部ノ

編成派遣ヲ俟テ別紙計画ニヨリ徴發ヲ實施

セントスル企圖ヲ有ス而シテ本計画ノ實行ハ國際

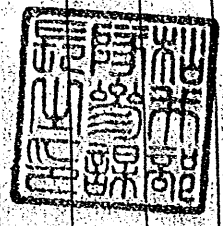
的關係モアリテ將來ニ關係スル所多ク又多額ノ経

費ヲ伴ヒ正貨ノ流出等ニモ影響自スル所鮮ナカラ

サル如ク存セラル、ニ付之カ實行ニ關シテハ何分ノ

指令方御取計相成度

尚拓務省關係ニ就テハ然ルハク連絡煩度申添フ



本件寫  
アルニ自本  
軍務



添フ 刀ノ ナカラ ヤノ 経 國祭 資施 部ノ 接之 毛



1184

本件寫十月十六、貴課ニ送付シ  
アルニ自本書ヲ添付シ置カレ又シ  
軍務課中 官 齊

台領地域内ニ於ケル水相蒐集計画集

其目的

台領地域内ニ於ケル現地物資タル水相ハ今ヤ收獲  
期ニ在ルモ住民逃亡シアリテ徒ニ腐朽セトス  
軍ハ直接之ヲ軍糧ニ充當スルノ目的ヲ以テ徵  
發ヲ實施シ特別手段ニヨリ刈取收獲ヲ實施  
スルニ在リ

尚要スレハ荒<sup>席</sup><sub>跡</sub>セル地方復興ノ資料ニ供ス  
其ニ方針

一水相刈取收獲計画ノ大綱ハ軍ニ於テ之ヲ定ム

二刈取收穫作業ニ必要ナル農夫ハ主トシテ台湾又朝鮮ヨリ招致ス

三軍ニ於ケル實行機關ハ物資蒐集部トス

四蒐集方法ハ徵發ニ依リ適時正當ナル暗償ヲ行フ

モノトス

五占領地域内所在ノ生獸生野菜等モ補給用トシテ

蒐集ス之カ暗償ニ就テハ前詳ニ依ル又時宜

ニ依リ袖刈取後生野菜等ノ農作準備ヲ為

サシムルコトアリ

其三 實施要領

一 水稻蒐集計畫ニ於テハ白領地域内水稻刈取  
区域ヲ選定シ各区域ニハ集積精撰所ヲ設  
定スルモノトス

二 刈取作業ニ任スヘキ農夫ハ軍ヨリ陸軍省拓務省  
ヲ經テ台灣總督府ニ招致依託ノ手續ヲ為ス  
モノトス

之ヲ為水稻刈取收穫作業ニ適應セル技術者並  
指導幹部ノ派遣方ヲモ依頼スルモノトス

三刈取收穫作業ハ物資蒐集部ニ配屬セル招致  
農夫團ニヨリ之ヲ實施ス

四物資蒐集部派遣方ヲ中央部ニ要請シ派遣軍

ノ編組ニ入ラシム

五徴發貸付施ニ方リテハ告示ヲ爲シ徴發價格及  
其支拂時期並場所等ヲ示シ明細ナル生産記  
録ヲ備ヘ後目支拂ニ便スルモノトス

六蒐集作業ハ刈取精撰ヲ含ミ概ネ三月ヲ

豫定ス

其四 海防施<sub>ニ</sub>伴<sub>フ</sub>細部手續

一 調査並收穫量豫想

台領地域内收穫量ハ平時調査ニ基キ作付

及別ト及當一<sub>ニ</sub>年<sub>ノ</sub>平<sub>均</sub>狀況ヲ基礎トシ左記<sub>ノ</sub>如ク

豫想スルモ實行ニ於テ一應踏査ノ上實行計

画ヲ策定スルモノトス

左記

台領地域縣名	利 用 率	收 獲 予 想
上海 縣	對 <sub>ニ</sub> 平 <sub>均</sub> 年 <sub>ノ</sub> 收 <sub>獲</sub> 予 <sub>想</sub> $\frac{1}{2}$	六〇、〇〇〇石
宜 小 縣	全 量	三四、〇〇〇石
嘉 是 縣	$\frac{1}{4}$	二六、〇〇〇石
計		四二六、〇〇〇石

二所収人員ノ算定

利用見込ノ作付及別見込一九五〇〇〇反トシ一及ニ  
 對スル作業力延三人役トセハ延五八五〇〇〇人役ト  
 ナリ假ニ十月十一月ノ五十日間ニ刈取ヲ實施スルモ  
 ノトセハ一万余七百人ヲ要スルモ先ツ<sup>三</sup>千人ヲ豫  
 定シ之ヲ招致ス

時宜ニ應ジ浮虜ヲ使用シ又治安回復セハ住民ヲ  
 使用ス

三、農夫ノ管理

- (一) 農夫ハ夫々軍隊組織ニ依リ班ヲ編成シ各刈取区域及精撰場所ニ配置シ所要ノ技術者並指導員ヲ<sup>附</sup>兼シ監督ス
- (二) 技術者並指導員ノ給與ハ産痛人ノ取扱ニ準ス
- (三) 農夫ハ一日給一円ヲ基準トシ標準作業高ヲ定メ超過高ニ應シ割増ヲ行フコトアリ
- (四) 農夫ノ給養ハ官給トスルモ宿營被服、裝備ハ自弁トス爲之個人用寢具食器類簡易ナル炊具等携行スルモノトス



(五) 新要ノ農具及精撰器具ハ物資蒐集部ニ於テ  
 整備上携行セシム各自携行ノモノニアリテハ  
 軍ニ於テ補償ス

(六) 往復旅費ハ官給トシ貧賤ヲ支給ス

(七) 特ニ防疫衛生施設手段ニ注意ス

(八) 自警ニ関シテハ兵站ニ於テ援助ス

#### 四 整 理

(一) 軍糧タル精米及蒿木ノ生産作業ナルヲ以テ生産

ニ要スル経費ハ事件費ノ支弁トス之カ為人夫  
 管理ニ要スル経費ハ明細書ヲ附シ陸軍大  
 臣ニ申請認可ヲ受クルヲ要ス

(三) 上海派遣軍當面ノ軍需所要トシテハ精米月量  
 三万石年所要三十六万石ニシテ收獲豫想額ニ  
 比スレハ鮮少ナルモ遠用ハモノニ對スル賠償額  
 トシテハ巨額ニ達スルヲ以テ現物整理ニ關シテ  
 ハ國際的問題ヲ生セシメサル如ク處理スルヲ要  
 ス